学校番号	104

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	CREATIVE English Communication Ⅱ 予習・授業ノート/ WORKBOOK（第一学習社） システム英単語（駿台文庫） Hyper Listening Intermediate（第一学習社）Reading Gym 英語速読テスト発展編（数研出版）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅡでは、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」４つの技能を総合的に発展させ、１年次に身につけた英語のコミュニケーション能力の伸長を図ります。また、教科書に取り上げられているさまざまな分野の題材を通じて、社会の諸問題への関心や異文化理解を深めることも目的としています。授業に主体的に参加すること、自ら考えること、積極的に発言することを心がけて取り組んでください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 2 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞き取ることができる。	・簡単な語や表現で書かれた短い物語伝記などを読み、あらすじを理解することができる。 ・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。	・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りすることができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、前もって準備したうえで、会話に参加することができる。	・日常的・社会的な話題に関する情報や出来事について、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて意見や感想を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

点 観	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体 的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson1 Voice for Action Lesson 2 Aren’t You Sleepy?	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Get Ready の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: さまざまな助動詞、分詞構文（現在分詞）、受け身の分詞構文、副詞節を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Lesson3 Becoming Attractive to Your Audience Lesson 4 Are you prepared?	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Get Ready の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・過去完了、助動詞＋have＋過去分詞、完了不定詞を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトをとるなど、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
2 学期	Lesson5 The Era of Beautiful Harmony Lesson 6 Actions to Reduce Loss and Waste	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Get Ready の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 関係副詞の非制限用法、同格の that、完了形の分詞構文、複合関係詞を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況

		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Lesson7 Living with Adventure Lesson 8 Power to the People	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Get Ready の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: さまざまな仮定法、否定語＋倒置、独立不定詞・独立分詞構文を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
3 学期	Lesson9 Traveling This Beautiful People! Optional Lesson1 May I have your autograph? Lesson 2 Information Please	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Get Ready の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: JTE の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: 前置詞＋関係代名詞、強調構文を用いた文を理解できる。 b: 本文の趣旨に基づき，Q，T-F の内容を理解し，正答することができる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: JTE などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文から整理した内容を活用して Over to You の問題に書いて答えることができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度